

阿蘇いこいの村施設の有効活用を



阿南 誠 藏

阿蘇坊中温泉「夢の湯」について

阿南 夢の湯について、現在、地権者の方と交渉中と聞いたが、一日も早く再開に向けて取り組みを。

佐藤市長 住民の方々が納得できるような形で進めていきたいと考えています。

震災復興緊急対策 経営体育成支援事業について

阿南 本事業について、国、県、市の補助率が90%で行われているが、進捗状況は。

佐伯農政課長 申請件数1,148件で、現在、1,059件が竣工し、進捗率は92.2%となっており、事業費は39億7,200万円、市の負担は約8億円になります。

阿南 事業実施に当たってのトラブル等は。

農政課長 制度上、本事業は被災農家が施工業者と直接契約する事業ですので、いくつかトラブルの報告や相談等を受けています。



阿蘇いこいの村北側広場

牛舎建設地、市は9月22日まで知らなかった？



竹原 祐 一

竹原 平成29年2月15日、現地確認を、県、JA、事業者で行っているが、県は、今の建設地(宮地万五郎)の住所は知っていたのか

佐伯農政課長 平成29年2月15日に予定地で協議会事務局のJA、熊本県、事業者で現地確認を行い、県は、この時点でこの場所といったところで確認をしていたと考えます。

竹原 2月23日、畜産クラスター計画の認定が、県から市、協議会へ、2月28日、実施計画、承認申請が来ているが、住所の記載、位置の記入はされていないかったのか。

農政課長 文書の形式上、項目等がなく、住所等の記載はありません。

竹原 私が5月に財務局に対し、畜産クラスター事業の繰越申請書の情報開示を行ったが、平成29年3月16日付けで、今、建設されている阿蘇市宮地万五郎の住所が明記されている。これまで、執行部は、平成29年9月22日までこの場所は知らなかったと答弁しているが、なぜ財務省は阿蘇市の知らない住所を知って

いるのか。

農政課長 国がどうして宮地地区の部分を承知していることについては、確認はとれていません。

竹原 今の説明では、まったく理解できない。協議会、阿蘇市、県がもっと早く住民に知らせておけば、住民と共に牛舎移転について真剣に話し合い解決する事は可能だった。疑惑を行政の方で打ち消して頂き、住民の対場に立った解決は。

佐藤市長 住民の皆さん方と信頼関係を常に保っていかなければならない。そんなところで何となく「阿蘇市が悪い。」というような意見をされても、それは大変遺憾なことで、もう少し調査をされた方が良いでしょうか。

他に「熊本地震被災者の生活に復興支援を」等の質問がありました。



畜産クラスター施設

阿蘇の米を全国区に、特Aランク取得を!!



河崎 徳雄

河崎 50年近く続いた減反、生産調整政策も見直され、作付け目安に変更された。市の水田は高冷地で恵まれた気象条件、整備された区画圃場、全国でも指折りの水田地帯であり、地下水保全にも貢献し、九州の水瓶でもある。このような阿蘇地域の作付け状況は。

佐伯農政課長 水田面積は約4,400haで、主食用水稻が約1,870ha、WCSが約1,200ha、飼料用米等が約50haで水稻作付け等が主体です。

河崎 米関係だけでも生産額は約30億円と阿蘇の農業の基幹産業とも言える。平成12年に発足した特別栽培米を更に有効に販売するためには、食味試験時にAランクの取得が必要だ。市、県、再生協議会、JAが特A米取得のための体制づくりは。

農政課長 特Aプロジェクト会議を通して、JAや再生協議会、県、実需者である観光関係者等と支援を含め対策を図って参ります。

畜産クラスター事業の提訴について

河崎 クラスタ事業について提訴された内容は。また、市の弁護士等の費用は議会の議決事項とし、議案提出を行うのか。

農政課長 原告側の損害というところで補助金相当額の5,009万5千円を含めて合計で7,393万5千円の請求内容となっています。訴訟に係る市の弁護士費用は、緊急性を要する関係上、予備費を充用しています。

阿蘇市いづの村について

河崎 平成25年に民営化し、現在は屋内外廃虚状態となっている。賃貸借契約書、協定書の不履行が原因で従業員も解雇同然だ。市の貸付先の選定にも責任があると思われるが、訴訟の請求趣旨は何なのか。

荒木まちづくり課長 請求の内容は、未払い賃料430万円、盛土撤去原状回復、備品の撤去、訴訟に要する費用負担になります。



使われなくなった市有施設の管理は



大倉 幸也

大倉 近年、統廃合を繰り返し廃校となり、残っている建物の状況は。

市原教育部長 閉校した学校12校あり、残っている施設の内容は校舎で11施設、体育館12施設、プールが10施設です。

本山福祉課長 廃園の施設は3箇所あります。

大倉 施設の利用状況、除草、剪定等の管理状況は。

教育部長 校舎の9施設が民間への貸出しや、社会体育施設、倉庫として利用し、2施設が未利用です。体育館は2施設、プールで5施設が未利用です。貸付側に管理を求めている施設が4施設、管理委託をしている施設が3施設、残り5施設は教育課で行っています。

大倉 管理を行っていると云われるが、樹木は伸び放題で適正な管理が行われているとは思えない。廃校になっても施設は残るのだから、当然、従来どおりの管理を行うべきだと思うが。

教育部長 事故等も発生している状況で、今後は財政課とも協議し、

業者等に委託をする方向で行きたいと考えています。

大倉 来々、廃校になる山田小学校についての今後の利用計画は。

教育部長 体育館、グラウンドにつきましても、今後も今までどおり一般開放し、避難所としても活用していただき、校舎については、検討委員会等で協議を重ね、方向性を模索して参ります。

畜産クラスター事業について

大倉 畜産環境保全に関する条例案で罰則が無いのに、今回の事業で補助金凍結の罰則を科したのはなぜか。

和田副市長 私どもといたしましては罰則とは思っておりません。手続きに瑕疵かしがあるのではないかと、いうことで支給を停止したものです。



旧宮地小学校

子どもたちの命を守る取り組みを



森元 秀一

森元 SNSを利用したいじめに
対し、自殺相談体制の強化に厚生労働省は取り組んでいるとあるが、阿蘇市においての見解は。

市原教育部長 本件は教育委員会として最も重要かつ最優先すべき事項と認識し、学校と連携しながら様々な取り組みを展開しています。電話による相談窓口である「子ども110番」、「24時間子どもSOSダイヤル」の設置を周知徹底し、子どもたちが相談できる環境づくりと、早期に見えてくるような体制づくりに努めています。

全国の例を見ますと、千葉県が既に中学生を対象にしたSNSを活用した相談アプリを開始し、相談件数も多く大変有効な手立てではないかと聞いています。担当者によると、いち早く危険サインをキャッチする、未然に防止する。このような対策を取るとい意味では大変有効な手立てと感じているとのことでした。県内の高等学校で本事業を始めるといこととです。それらの事例

等の情報を収集し、同時に学校現場と協議を進め検討していきます。

森元 登下校時の安全対策の現況と対策は。

教育部長 保護者の方や地域ボランティアによる街頭指導や見守り隊に協力いただき、また、警察とも密に連携し、特に登下校時のパトロール強化を行う等、子どもたちの安全確保に努めたいと考えています。

他に「災害時のBCP（業務継続計画）について」、「食品ロス削減に向けての取り組みについて」、「子どもの貧困対策について」の質問がありました。



北側復旧ルート、滝室坂トンネル開通後に阿蘇市が目指す明るい将来像は



園田 浩文

園田 北側復旧ルートのトンネル約3・6km工事進捗状況が5月末現在阿蘇側は、本坑589m（進捗率29%）、避難坑1,153m（進捗率57%）。大津側では、本坑1,079m（進捗率65%）、避難坑1,552m（進捗率94%）で、国土交通省は2020年（平成32年）の開通を目指している。一方の滝室坂トンネル4・8kmの完成時期は。

中本建設課長 地元説明会では、工期は概ね7年から8年と聞いています。

園田 北側復旧ルート開通後、今後の阿蘇市内主要幹線道路の整備計画は。

建設課長 内牧より車帰に抜ける市道と県道河陰阿蘇線は、市道部分については歩行者対策として白線を施工し、県道についてはカーブカット、視距改良等について県へ強く要望を行います。

吉良経済部長 阿蘇西小学校前の8m道路に関しては、今年度中に整備が完了。県道23号へ接続する赤水

バイパスは用地買収後、順次、着工していく予定です。

園田 県道23号沿線の農業振興地域の整備に関する法律（農振法）や、都市計画区域等の早急な規制緩和に取り組み、宅地造成、企業誘致のための工業団地整備の実現を。

佐藤市長 一本の道路が出来れば地域が変化し、流通・農業・観光・商工業、あるいは救急救命と命の道路に繋がります。20年以上要望を続けてきました滝室坂トンネルの着工は悲願でありました。2年後の北側ルート開通を期に阿蘇の魅力を日本そして世界中へと発信できるよう計画して参ります。

他に「阿蘇体育館の整備について」等の質問がありました。



工事中の二重峠トンネル（阿蘇口側）